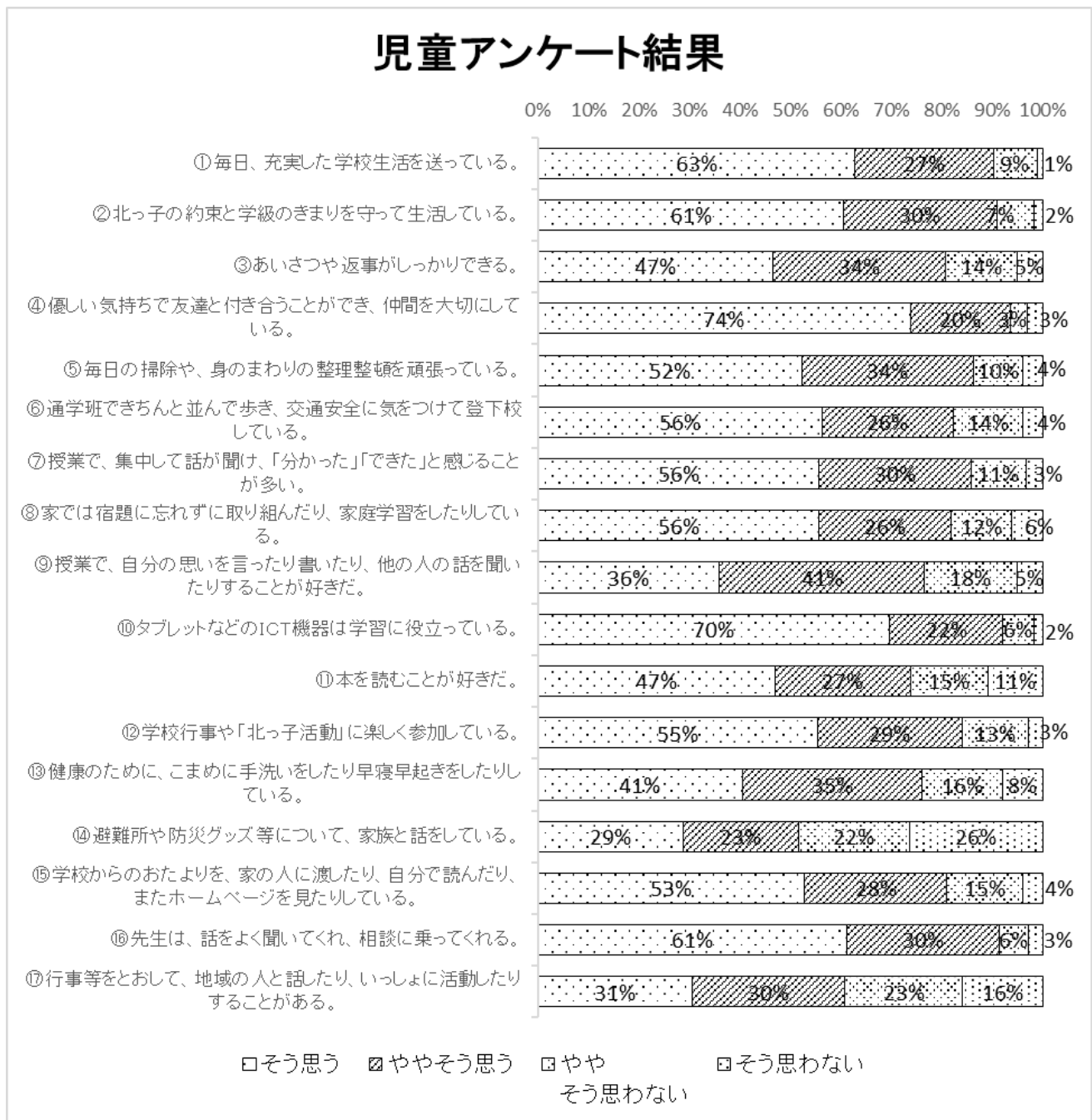


令和6年度「学校評価アンケート」の結果について

津島市立北小学校

本校は、教育目標「心身ともに健康で、豊かな心と自己実現をめざす確かな力をもつ児童の育成」のもと「元気な子・心豊かな子・自ら学ぶ子」をめざす児童像としてかかげています。今年度は、「優しさ」と明るい“声”があふれる学校」を合い言葉とし、生活面では「あいさつ」「返事」「歌声」があふれる学校をめざし学習面では、対話（話し合い）から考えを深めていく体験を多く取り入れ、学ぶことの楽しさを味わわせることを目標に教育活動を行ってきました。学校生活の充実を図り、地域や家庭の教育力を活かした教育活動ができているか学校評価としてのアンケートを実施し、その結果をまとめ、次年度の教育実践に向け、さらなる工夫・改善を行っていきたくと考えます。「令和6年度学校評価アンケート」を、昨年12月に実施いたしました。保護者の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計結果を報告させていただきます。皆様の声を今後の教育活動のさらなる改善に生かしてまいります。

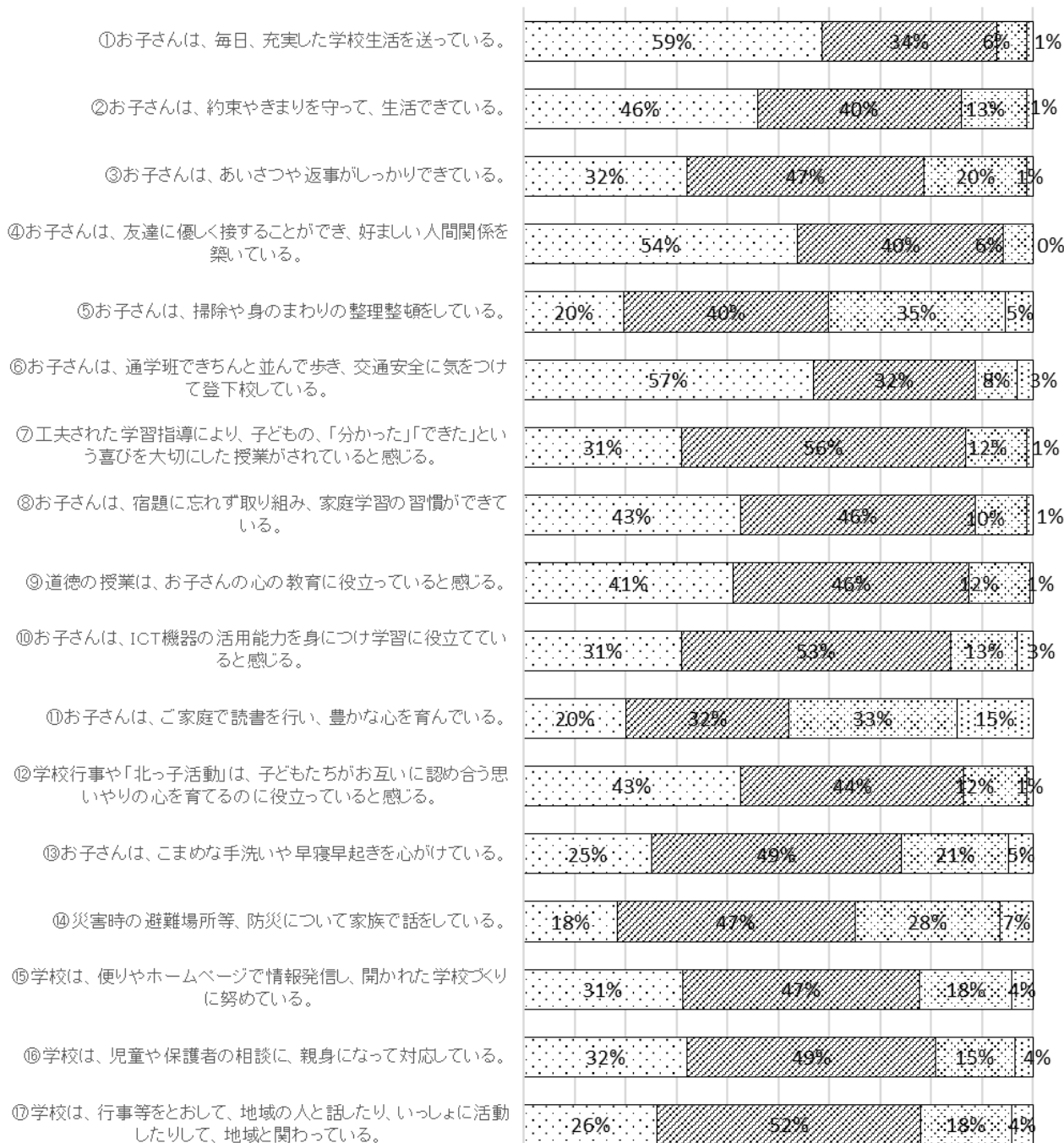
1 児童、保護者のアンケート結果



児童アンケート結果を見ると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答が、80%を超えたものが、17 問中 12 問ありました。とりわけ「④優しい気持ちで友達と付き合うことができ、仲間を大切にしている」は94%、「⑩先生は、話をよく聞いてくれ、相談に乗ってくれる」は91%と、学級の中で担任を中心とした温かい人間関係の輪ができていと児童が感じていることがうかがえます。また、昨年度と比較すると「⑩学校からのおたよりを、家の人に渡したり、自分で読んだり、またホームページを見たりしている」に対する肯定的な回答は、昨年度の62%から19ポイント増の81%でした。児童が、家庭と学校をつないでいることがわかります。また、「①毎日、充実した学校生活を送っている」に対する肯定的な回答は、昨年度の87%から3ポイント増の90%でした。家庭での親子の絆や地域とのつながりが、学級でも生きていることを感じます。

保護者アンケート結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



□そう思う ■ややそう思う ▨ややそう思わない ▩そう思わない

保護者アンケート結果を見ると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答が、80%を超えたものは17問中10問ありました。「④お子さんは、友達に優しく接することができ、好ましい人間関係を築いている」「⑥お子さんは、通学班できちんと並んで歩き、交通安全に気をつけて登下校している」が、肯定的な回答をいただいています。「⑭災害時の避難場所等、防災について家族で話をしている」に対する肯定的な回答は、昨年度の同様の質問と比べると、57%から8ポイント増えて65%になりました。学校でも月1回「家庭防災の日」に、校内放送等で防災について呼びかけていますが、いざというときの備えなどご家庭において、防災への関心が高まっていることがうかがえます。

2 考察とまとめ

児童、保護者の結果から、次の三つの点を今後の課題としていきます。

一つ目は、⑪「読書」に関することです。児童の「⑪本を読むことが好きだ」の回答結果は74%であり、児童が、本に興味をもっていることが感じられます。読書は国語力の基礎となるため、本に親しめるような読書指導を継続したいと思います。学校では、「朝の読書の時間」の設定をしており、「読み聞かせ」をPTAの協力を得て行ったり、図書委員会による図書室の環境づくりを工夫したりするなどの活動に取り組んでいます。これからも図書館教育を充実させ、本を読ませるための工夫をしていきます。

二つ目は、⑤「掃除や身の回りの整理整頓」についてです。児童の「⑤毎日の掃除や、身のまわりの整理整頓を頑張っている」は86%、保護者の「⑤お子さんは、掃除や身のまわりの整理整頓をしている」は60%という結果でした。この問いは、「掃除・身の回りの整頓」について、保護者は家庭、児童は家庭と学校の両方のことについて答えています。保護者のポイントが比較的高くないのは、児童が、家庭での毎日の掃除や整理整頓ができていないということだといえます。児童にとって、学校での清掃指導が、家庭での毎日の掃除や整理整頓につながっていないのではないのでしょうか。あるいは、掃除をすることの意義を、児童が理解していないかもしれません。学校も家庭も、環境が整うことで、生活は落ち着き、心の健康にもつながっていくと思います。学校では、児童に、掃除の仕方に加えて、今後、掃除をすることや場を清めるということの意義も指導をしていきたいと考えます。

三つ目は、⑭「防災」に関することです。学校では、いざというときに身を守る行動がとれるよう、避難訓練や、毎月実施する防災のための校内放送等を通して、年間を通して防災学習に取り組みました。家庭でも、防災への関心が高まっていることがうかがえます。今後も、防災学習の機会を、学級・学校全体において定期的に設定するなど、防災への意識がより高まるように指導に取り組んでいきたいと思います。

今年度、「あいさつ」「返事」の明るい声があふれる学校をめざし、教育活動に取り組んできました。児童の「③あいさつや返事がしっかりできる」は昨年度と変わらず80%、保護者の「③お子さんは、あいさつや返事がしっかりできている」は昨年度より3ポイント減の79%という結果でした。教職員は合言葉のもと、徹底して取り組んでいきます。

児童が「①毎日、充実した学校生活を送っている」という問いに対する概ね肯定的な回答が、90%以上あったことは、とても嬉しい結果となりました。今後も、学校生活の充実を図り、地域や家庭の教育力を活かした教育活動ができるよう、ご家庭や地域の方々との連携をとりながら、「家庭・地域とともにある学校」を目指して教育活動に取り組み、多くの児童が充実した学校生活を送ることができるように努めていきたいと思います。